

おめでとうござります!!



祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定!

「わたしのSDGs活動宣言」Vol.38



みやぎSDGs Farm



みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp



私はこの活動に参加したことから、自分が無意識にSDGsを行っていたことに気づきました。飲み終わって洗ったペットボトルをお店に持ち込みペットボトル回収機に入れていましたが、これもSDGsの一つの行動だったのです。

SDGsは意外にも私たちの身近にあります。皆さんはエンカル消費を知っていますか。それは社会問題解決のために行う消費活動のことです。例えば、被災地の農産物を積極的に購入する、地元の商品を買う、環境に優しいリサイクル素材を選ぶなどです。

「コンビニでは「手前取り」を行うようになりました。賞味期限が近いパンは手前にあ



皆さんは、子どもたちにどんな未来を残したいですか? 私は、地域や自然を大切にすることで、安心して暮らせる街を作りたいと思います。

私はキャンプが趣味で、自然の豊かさを感じながら、仲間と笑い合い、語り合う時間が何より楽しいです。自然の恵みや人とのつながりを大切に思うからこそ、街の緑や憩いの場が減り、商店街の活気が失われていくことに不安を感じていました。

「みやぎSDGs塾」に参加し、私の視点が大きく変わりました。これまで「他人ごと」だった地域や社会への貢献が、今では「自分ごと」として捉えられるようになりました。異なる立場の人達と対話を重ね



よく見かける「SDGs」の文字。環境に配慮したこと、世界平和に関すること、貧困をなくすことなど、イメージしやすいようで自分の生活に置き換えると、想像がわかないことが多いです。

しかし、私が働くみやぎ生協では、2015年に国連総会にてSDGsが定められる前からSDGsに関する取り組みを事業として行っています。

移動販売車「せいきょう便」や「ゆっくりレジ」で、誰もが快適にお買い物ができるようにサポート。さらに、店舗屋上に太陽光発電の設置、宅配では効率の良い配送ルートでの配達、電気トラックの導入でCO2削減にも取り組むことで、環境への配

身近なことに目を向けてみよう

日本旅行東北 鈴木優希さん

ります。以前は手を伸ばし何が何でも奥から取っていました。手前にある商品を取るのも「エンカル消費」なのです。また、コンビニやスーパーなどで割引されている商品を見かけたことのある方は多いと思います。よくみると、「食品ロスにご協力」というような表示が書かれています。これまではただ安く買っているからという理由で商品を手に入れていることが、最近ではSDGsを意識して買物するようになっていきます。皆さんが何気なく行っている行動がSDGsに貢献しているのです。

SDGsに取り組む機会は日常生活にもっと増えてほしいと思います。ぜひ小さなSDGs活動から実践してみてください。



未来をつくる一歩

タイハク 水戸伸紘さん

ること、より広い視野を持てるようになってきました。

私が勤めるタイハクでは「タイハククリーンアップDAY」を企画し、工場周辺や近隣の清掃活動で、地域の人々と協力して環境を守り、少しずつ街を良くしていくことを目指しています。5年後には全従業員参加を達成し、地域の一員としての責任を果たしたいと考えています。

豊かな環境を次の世代に引き継ぐために、一人一人が手を取り合って築き上げていくことが大切だと感じています。自分ができる小さな一歩を踏み出し、楽しく、無理なく続けられる活動を広げていきます。それが、未来のための大きな力になると信じています。



わりと身近なSDGs

みやぎ生活協同組合 高橋美咲さん

慮も欠かせません。スポーツを通じた地域活性化も行っており、U12サッカーリーグ「めぐみ野杯」の開催や、地域のプロスポーツチームの応援もしています。持続可能な開発目標と聞くと、とても大きな取り組みのように感じますが、すでに取り組んでいることがほとんどです。これからは、2030年のゴールを見据えて、継続的かつ長期的な活動を推進することがとても重要です。

みやぎ生協が行っている事業を多くの人に伝えられるよう参加や発信をしていきます。

